



# **みなみおおすみ** **みんなの議会**

8月・9月・11月会議

先進地に学ぶ！（島根県・海士町）

災害復旧費を可決！

南大隅町まち・ひと・しごと創生総合戦略への提案

町民と行政のかけはし

第42号

平成27年  
12月号



# 5億8千687万5千円可決！

## 特別会計補正予算 18,384,000円

定例会8・9月会議及び11月会議が開催され、災害復旧費など補正予算をはじめとする、議案14件、陳情2件、諮問1件、同意1件が審議され原案通り可決されました。

### 災害復旧事業（公共土木施設災害復旧費）



	路線名	箇所		路線名	箇所
1	立切永江線	佐多郡	7	打詰1号線	佐多辺塚
2	梶南川内線	根占川南	8	大中尾木場線	佐多伊座敷
3	伊座敷瀬戸山線	佐多伊座敷(1)	9	白木原別府線	佐多伊座敷
4	伊座敷瀬戸山線	佐多伊座敷(2)	10	上村古里線	佐多郡
5	浮津下岩線	佐多伊座敷	11	野尻野線	根占辺田
6	中野熊之細線	佐多辺塚	12	川田代山崎線川尻橋	佐多馬籠

## 259,208,000円

(内町負担額：103,737,000円)

# 災害復旧費など補正予算

【一般会計補正予算 586,875,000円】

## 災害復旧事業（農業用施設災害復旧費）



	路線名	箇所
1	大川地区（1～3工区）	根占辺田地内
2	炭屋地区	根占辺田地内
3	前田地区	根占横別府地内

**18,500,000 円**  
(内町負担額：6,475,000 円)

## 災害復旧事業（林道災害復旧費）



	路線名	箇所
1	根占中央線（1号箇所）	根占横別府地内
2	根占中央線（2号箇所）	根占横別府地内
3	辻岳線	根占横別府地内
4	立神線	根占辺田地内

**104,500,000 円**  
(内町負担額：36,575,000 円)





8月・9月  
11月会議

# 議案の質疑

## 一般会計補正予算

### 災害復旧費 について

【大久保議員】

今回、農業用施設災害が3箇所、林道災害が4箇所、公共土木施設災害が12箇所、合計19箇所の災害現場の内、災害査定に於いて認められなかった現場があるか伺います。

【建設課長】

認められなかった事業はございません。

### 臨時福祉 給付金の 償還

【水谷議員】

平成26年度の臨時福祉給付金が68万円償還されているが、該当者に対する給付率を伺う。

【介護福祉課長】

3,650名の該当者に対し、3,600名に給付しております。申請期間を2月まで延長し、該当者には、再三にわたり、呼び掛けをしましたが、50名の方の申請がなく、償還する結果となっております。

## 一目でわかる審議結果 8月・9月・11月会議

### ○全会一致の議案

陳情 3号	地方財政の充実・強化を求める陳情書	採択
陳情 4号	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	採択
議案 8号	請負契約（南大隅町防災行政無線同報系デジタル化整備工事）の締結について議決を求める件	可決
議案 9号	請負契約（佐多保健センター改修工事）の締結について議決を求める件	可決
議案 10号	南大隅町立歯科診療所X線画像診断機器購入契約の締結について議決を求める件	可決
議案 11号	平成27年度南大隅町一般会計補正予算（第5号）について	可決
議案 12号	消防ポンプ自動車購入契約の締結について議決を求める件	可決
議案 13号	南大隅町過疎地域自立促進計画の変更について議決を求める件	可決
議案 14号	南大隅町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 15号	南大隅町手数料条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 16号	平成27年度南大隅町一般会計補正予算（第6号）について	可決
議案 17号	平成27年度南大隅町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	可決
議案 18号	平成27年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案 19号	平成27年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案 20号	平成27年度南大隅町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	可決
議案 21号	平成27年度南大隅町一般会計補正予算（第8号）について	可決
諮問 1号	人権擁護員の推薦について意見を求める件	推薦

### ○賛成多数の案件

同意 2号	教育委員会委員の任命について同意を求める件	同意
-------	-----------------------	----



# 議員と語る会を開催

## 自治会長とぞくくばらんに！

平成27年9月28日自治会長会に於いて議会報告会を行いました。

今年度は、各地区では行わず、町内各種団体との議会報告会を企画し、その第1回目として開催されました。平成27年度予算や各常任委員会のこれまでの活動内容を説明した後に、質疑応答が行われました。



### 【自治会長】

サル・イノシシ等の有害鳥獣による被害が多発し対策に苦慮している。

### 【自治会長】

カーブミラーが汚れる等により見にくくなっている箇所が見受けられる。

### 【議会】

町としても様々な対策を行っている。ワイヤーメッシュによる囲込みや電気柵等の設置補助等を活用して欲しい。

### 【議会】

根占地区については調査を行い結果を担当係に報告指示した。再度町内全域の調査と清掃等を指示します。

# 常任委員会 活動

## 教育産業常任委員会

### 【災害復旧等調査】

平成27年6月から7月の豪雨における被災現場のうち、公共土木施設災害4ヶ所、林道災害1ヶ所、耕地災害1ヶ所の調査を実施しました。公共土木施設及び林道の災害に関しては、既に、国による査定は全て完了し、耕地に関しては、11月16日に予定されている事を確認しました。

被災箇所は土砂の除去や通行止め等の標識板設置など、安全対策は実施されました。また、原形復旧や再発防止に向けた施工計画がなされている事等を確認できました。

細かいことは現場で担当職員に確認しながら、安全管理に務め、早急な災害復旧がなされるよう要望しました。



# 先進地に学ぶ!!

## 島根県隠岐郡海士町

### 地方創生総合戦略等調査特別委員会による 調査報告

地方創生総合戦略等調査特別委員会では、9月17・18日に、海士（あま）町へ「地域活性化策の取り組み」について所管事務調査を実施しました。海士町は、島根県隠岐諸島に位置する人口2千4百人の少子高齢・過疎化の進む町であり、地域産業の活性化や高校存続に向け、「ないものはない・離島からの挑戦。最後尾から最先端へ!」をキャッチフレーズに先進的な取り組みが進められています。



## 海士町の取り組み

### 1. 地域資源を活かした、産業の活性

- ・岩ガキの養殖
- ・島内の豊富な魚介類を新鮮で適期に出荷する為のC A S冷凍システムの整備
- ・建設業者による隠岐牛のブランド化
- ・干しナマコのブランド化
- ・アワビカレーの商品化

上記をはじめとして、島を活性化するための展開に、I・Uターン者が携わりこれまでに、Iターン者が326世帯・483名定住し、平成16年以降、法人12社、集落・グループ・個人により6社が起業している。

### 2. 高校存続に向けた取り組み

- 島前（どうぜん）高校魅力化プロジェクト
  - ・普通科に「地域創造コース」・「特別進学コース」の創設
  - ・学生寮の建設（町費による）
  - ・学習塾の創設

現在では、島外からの入学者が半数に上り、1学年2学級編成が実現している。



# よりよい町づくりのために

## 所管事務調査を終えて

委員長 川原 拓郎  
副委員長 大久保孝司

地域産業の活性化や高校存続の取り組みでは、「海士町に行けば何か出来る。自分に合った仕事ができる。」自分の活躍のステージを求め島を訪れる。島は、やる気のある若者を求めており、それらが融合したとき町からの支援を受けながら事業や仕事に従事できる仕組みが出来上がっていました。

本町におきましても、少子高齢化による担い手不足・高校存続に向けた取り組み等海士町と似た状況にあり、学ぶ面を多く感じました。今後、農林水産業や商工業の振興と産業基盤の確立や高校の魅力化などを推進して行くことが必要です。地方創生における「人口減少に歯止めをかける。」ための、具体的施策が重要となってくると考えられます。

南大隅町まち・ひと・しごと創生総合戦略の積極的な取り組みを期待したい。



【海士町 承久海道 キンニャモニャセンター】

## 海士町の取り組みに思う

松元 勇治

今回の海士町調査は、地域活性化に資する創生事業の中でも、過疎、高齢化により地域の産業が衰退している為の、人口減少に歯止めをかける事業が、興味深いものであった。人口を増やす為に、一番必要な事、まず労働人口を増やす事である。

そこに住む人々は、地域の魅力を十分に知っているつもりでも、島外から見ると、また違った視線から見ることが出来る、行政は、外から人材を入れることにより新しい視野が開けると考え、すぐに実践していくスピードを感じた。過疎・辺地を逆手に取り、補助金を利用して地域おこし協力隊制度を活用した10名ほどの隊員による活動の場を提供している。当面の生活を担保してやることにより、彼らは、地域に住み続け、この地における自分の生き方を模索する。最終的には地域を活かした仕事を見つけ起業していく。行政はそれを支援していく。産業振興や教育環境にも良い人材が集まっていた。南大隅町も十分参考になる事が多いと思う。

# 南大隅町まち・ひと・しごと 創生総合戦略への提案

## 《 4 項目・19 事業案を提出 》



平成 27 年 11 月 24 日地方創生総合戦略等特別委員会では、これまで審議してきた「南大隅町まち・ひと・しごと創生総合戦略」への提案する事業案を、委員長・副委員長より町長へ提出致しました。これまで、海士町での事務調査・視察をはじめとして、全ての議員がそれぞれ調査した事業を当委員会へ提出し、そこで審議された 4 項・19 事業が提案されました。

提出内容については、下記の通りです。

### 【提案項目】

- 1、 移住・定住・子育て支援
  - 1) 移住・定住希望者への支援 ..... 4 事業
  - 2) 婚活への支援 ..... 1 事業
  - 3) 子育て・教育の支援 ..... 2 事業
- 2、 産業育成、雇用の安定
  - 1) 企業・創業等支援 ..... 7 事業
- 3、 観光振興と交流人口の増加
  - 1) 旅行者に選ばれる観光商品づくり ..... 1 事業
  - 2) 観光スポットへの誘客に向けた基盤整備 ..... 3 事業
- 4、 町民の暮らしと地域コミュニティの充実
  - 1) 地域コミュニティの充実 ..... 1 事業



# 3名の議員が町長・教育長に 町政を問う!!

## 一般質問（9月会議）



掲載順	質問事項	質問議員
1	<ul style="list-style-type: none"><li>・財政状況について</li><li>・自治会の支援について</li><li>・総合教育会議の開催及び大綱の制定について</li></ul>	水谷 俊一
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民生活等緊急支援事業（地方創生先行型）について</li><li>・グラウンド・ゴルフ競技場の整備について</li><li>・通信施設等の整備について</li></ul>	松元 勇治
3	<ul style="list-style-type: none"><li>・農地中間管理事業について</li></ul>	大久保 孝司

## 財政状況について問う



水谷俊一 議員

【水谷】直近の財政指数・地方債・積立金の状況と、併せて、現在の財政状況をどの様に分析しているか伺います。

【町長】平成25年度における普通会計決算の財政力指数0・16、経常収支比率81・9%、実質公債費率10・7%となっています。また、地方債残高は84億9千503万8千円、基金積立金75億207万9千円となっています。現在の財政状況は、年度間で一時的な悪化はあるものの、全体としては、健全な方向に向かっているものと判断しています。

【水谷】町長は最近「本町は借金もなく、財政状況も良好である」と言われているが、その根拠を伺います。

【町長】借金が無いという表現は少々、不適切だったと思いますが、起債残高と基金積立残高が、概ね同額になった事を、お示ししているところでありませぬ。

【水谷】今後、5年間の見通しを伺います。

【町長】自主財源率が非常に低く、交付税が主たる財源の町ですので、人口が減少していく事を考えると、今後の見通しは非常に厳しいと考えます。

【水谷】現在、会計課で基金積立金を利用して国債の運用をされていますが、その運用益を伺います。

【会計課長】平成25年度の基金利子、配当金は364万円、平成26年度は3千139万円です。この年の国債購入額は19億6千850万円、この売買益及び利子収入は2千500万円になります。そして、定期預金利子が639万円になります。

【水谷】国債を売却して財産運用をし、今後の見直しも厳しいといわれるのであれば、長期の財政計画は必要だと考えます。

【水谷】5年ごとの長期財政計画を作成し、それに沿った財政運営を実施していく考えはないか伺います。

【町長】南大隅町建設計画に平成32年度までの財政計画を記載しており、財産運営のベースとしていただいております。

【水谷】南大隅町建設計画は私も確認しております。ここに出てくる数値は全

て、人口の推移等を加味して推計された数値です。計画する上での数値は、推計値ではなく、目標値でなければいけません。目標がないと結果の検証も出来ません。財政計画を作成されることを求めます。

## 自治会の支援について問う

【水谷】町内109自治会の現状をどの様に分析しているか伺います。

【町長】自治会加入率の低下や住民の高齢化等により、自治会活動が困難になりつつあると認識しておりますが、地域に根ざした課題の解決や安全安心の環境を築くため自治会の組織は非常に重要であると考えます。

【水谷】現在、自治会を維持・運営して行くうえで、行政が考える問題点を伺います。

【町長】役場から自治会に依頼している主な業務は、「広報南大隅」等の配布をはじめ、行事等の周知、ごみステーションの管理、各種調査など様々であります。自治会加入率の低下や高齢化により、「連帯感の希薄化」、「役員不足」、「行事参加者の低下」、「活動費の不足」等の問題が生じていると考えます。

【水谷】自治会が本来果たすべき機能が、加入率の減少や、住民の高齢化等で、果たすべき機能が、果たせなくなっています。また、活動費不足の話をよく耳にしますが、自治会が支払っている各種団体等への負担金や募金で行政が把握されているものを伺います。

【総務課長】負担金につきましては、自衛隊協力会費、日本赤十字の社員会費、社



会福祉協議会費。募金は、緑の羽根・赤い羽根募金等で、おおよそ1世帯あたり1,700円程度の拠出であります。消防費は金額も違うので含めてはおりません。



【水谷】自治会で何かやるうとしても予算が足りない。しかし、これ以上の出費を各世帯に求めるのは無理です。自治を行うためには、それなりの予算は必要です。今後、自治会の機能を維持して行く為には、財政の支援が必要だと考えます。

【水谷】今後、自治会を維持・運営して行く為の支援策を伺います。

【町長】現在公民館や放送設備、街路灯等の整備に「地域振興施設整備事業補助金」を、今年度より町政10周年を記念し、良好な地域社会の維持及び地方自治の振興に資する事業に「南大隅自治会チャレンジ創生事業補助金」で自主的な活動の支援を行っています。また、平成28年度に向け、新たな支援策も検討しています。



ゴミステーション設置も補助対象です。

【水谷】町政10周年で実施された「南大隅チャレンジ創生事業」は今年度限りの事業か、伺います。

【町長】概ね、5年間この事業は実施したいと考えます。

【水谷】私の考えは、自治会毎に、各種団体等への負担金や募金等に相当する金額の支援を求めます。現在の財政状況は良好で、財源も、先ほどの国債の運用益金で十分であります。早急に自治会支援を実施すべきだと考えますが、町長の考えを伺います。

【町長】自治会の運営状況や高齢化率、世帯の状況等を勘案し補助の在り方を検討し、平成28年度より実施して行く予定で、考えています。また、やる気のある自治会は、「チャレンジ創生事業」を利用して自治会の事業を実施し、お金を残している自治会も出てきています。

【水谷】支援してあげたいのは、それが出来ない多くの自治会です。

【水谷】小規模多機能自治

を推進して行く考えはないか伺います。

【町長】小規模多機能自治は、自治会や消防団、PTAや女性会など様々な組織が連携を深め、それぞれの長所を生かし、補完しあうことで、地域の課題を自ら解決し、自治域の振興と発展を図る組織であると理解しています。やはり地域の盛上り、機運が大切だと考えます。

【水谷】自治会と自治会の統合は、遅々として進まない、そこで、小さい自治会をまとめる、少し広い地域での自治が必要です。概ね校区単位での自治の充実が必要だと考えます。校区ごとにコミュニティセンターを備え、そこに嘱託職員を常駐させ、校区内の様々な事案にあたらせる。このコミュニティ毎に必要な予算を拠出し、小規模多機能自治を行うべきだと私は考えます。

## 総合教育会議 の開催及び大 綱の制定時期 を問う

【水谷】総合教育会議の開催及び大綱の制定時期を伺います。

【町長】「第1回南大隅総合教育会議」を4月23日(木)に中央公民館大会議室で開催しています。また、「南大隅町総合振興計画」をもって教育振興に関する施策の大綱とする事を確認し、その骨格を協議しました。

【水谷】総合教育会議は、原則公開で開催し、その開催事項を広く周知しなければならぬはずだが、その様にされたか伺います。

【町長】公開で開催し、広報誌周知を行いました。

# 地域住民生活等緊急支援事業（地方創生先行型）について問う



松元勇治 議員

【松元】鹿児島南部広域連携観光物流構築事業で本町も広域連携に参入しているが、今後の展望について伺います。

【町長】本事業は、指宿市、南九州市、南さつま市、に本町を加えた4市町で、香港における観光キャンペーン及び物流構築事業と、タイ・シンガポールにおける外国人観光客の誘客事業を展開するもので、これを、地方創生に位置づけ、5年計画で進めていく考えです。香港をはじめ、東南アジアで本地域を売り込み、交流人口の増加と物流の活性化により地域活性化を図っていきたいと考えます。

【松元】需要業績評価指数の中で、商談件数を3件としているが、これらの国に対して、本町から発信出来るものがあるか、伺います。

【企画観光課長】現在、香港におきまして南州農場が物流を行っておられます。

【松元】それは、民間が独自でされているものだと考えます。今年度、CAS冷凍システムの導入を検討されるとのことでしたが、この事業との関連性を伺います。

【町長】これは、本町の豊富な水産物を冷凍保存することにより、価格の安定を図るもので、地元をはじめとする、国内での流通を考えています。その後、海外への物流も視野に入れる事になると考えます。

## 細胞組織を生きし、新鮮な美味しさを再現する凍結技術。



【松元】長島町もCAS冷凍システム・ヒスグレートの設定を持って、海外へ向けて発信しています。後発となると難しい点もありますが、民間の関係業者とも話し合いの場をもって、推進して頂きたいと思えます。

【松元】本町独自の事業はどの様に進められているか伺います。

【町長】平成26年度は5千572万9千円、平成27年度では2千566万円の予算で、事業を執行しています。今後は、「総合戦略」を策定し、有識者の意見を伺いながら、KPIを設定し、PDCAサイクルによる事業執行を図っていきま

【松元】大きな予算が、あまりにも短期間に決定され執行されているように感じます。

例えば、新規漁業実証実験に800万予算が組まれています。これも短期間のうちに予算が決定され執行されているが、この事業はいつ頃から計画されたものか伺います。

【町長】「岩ガキ養殖」の計画は、昨年からありました。地元の関係者も是非取り組んでみたいとの事でしたので、早急に計画・実施した状況です。岩ガキに関しては、鹿児島県の水産試験場も勧めている事も付け加えておきます。

また、地方創生はスピード感を持ってやらないと、予算を獲得できないと考えています。

【松元】全員協議会等で、もう少し詳しい説明が欲しかったと思います。地方創生の事業は有識者のみでなく、20代・30代の若い世代や、女性の方々も交えた話し合いを持たれることを求めます。

グラウンド・ゴルフ競技場の整備について問う



【松元】近年、町内のグラウンド・ゴルフ人口が増え町外からの交流試合も多くなる中、塩入、みなと公園内の整備、近隣に競技場の建設は考えられないか伺います。

【町長】公園として整備された「みなと公園」内をグラウンド・ゴルフ場として整備して行くことは、考えていません。

今後、その近隣に競技場として適当な場所を選定し、建設に向け取り組みたいと考えます。

【松元】交流試合等を企画する上に於いて、少なくとも2コート以上出来るスペースが必要となってきます。鹿屋市、錦江町などそれ以上のものが整備されています。是非取り組んで頂きたい。そこで、計画される場所は塩入地区という事によろしいか、伺います。

【町長】競技場は、4コート分の広さが必要だろうという事で、検討している状

況です。

用地買収等も関係しますので場所は申し上げられません。

ネッピー館・なんたん市場、山川根占フェリー、海上タクシー等との関連性も考えた交流の在り方も同時に考えた整備が必要だと考えます。

【松元】今回グラウンド・ゴルフのイベント等に「いきがい支援事業」として、100万円の予算が組まれています。グラウンド・ゴルフの競技人口から考えれば、決して高くはないと考えます。この予算は今年度限りのものであるか伺います。



【町長】この予算は、地方創生事業の予算ですので結果検証が必要であり、そのうえで、必要という事であれば増額もあり、効果がなると判断すれば減額される事になります。

【松元】この100万円が健康増進につながり、さらに医療費の削減につながっていくものと考えます。是非、来年度も計画して頂きたい。

## 通信施設等の整備について 問う

【松元】観光主要地にWiFi（無線LAN）の設置計画は考えられないか伺います。

【町長】佐多岬、雄川の滝駐車場、パノラマパーク西原台において、インターネットにつながず情報提供をするクローズWiFi

機器を設置し、各スポットの説明、町内観光地の案内、町内観光・飲食店で利用できるクーポンの配信を行う予定です。

【松元】佐多岬の駐車場はいつ頃の設置予定か、伺います。

【企画観光課長】平成28年3月までには完成の予定です。



【松元】佐多岬を訪れた人達に食堂や、次の立ち寄り先など、情報発信をする事は、町の経済に大きな効果をもたらします。インバウンドに關しても、不自由のないおもてなしが出来ると思います、早急に実施して頂きたい。

【松元】携帯電話の受信不感地帯の解消問題を業者に要請されているか伺います。

【町長】鹿児島県と連携して業者に対し不感地帯の解消に關する要望活動を行っています。

【松元】3年後には、佐多岬の整備が完了し、多くの観光客が訪れることが予想されます。

その時までには、鹿児島県と連携して、不感地帯が解消されるように要望活動を続けて頂きたい。

# 農地中間管理事業について問う



大久保孝司 議員

【大久保】重点支援地区のモデル地区、重点地区と一般地区における取組の進捗状況を伺います。

【町長】モデル地区として、「浦・川原と郡」の2地区、重点地区として「川北、川南、横別府、城内、宮田、登尾、佐多、大中尾」の8地区その他を一般地区とし、平成26年度は川北地区で約1・9 haを2人の借受人に集積しています。また、平成27年度は横別府地区の大野と大久保で、8 haの集積が進む見込みです。

【大久保】モデル地区での説明会は、今までに何回開催されているか、伺います。

【経済課長】説明会は、モデル地区それぞれで1回開催しています。

【大久保】1・9 haを借り受けた川北地区の状況を伺います。

【経済課長】ここは、以前より農業法人が借り受けていた土地を、機構側に貸出し、制度を利用した貸借にしたという事でありませ

【大久保】そこは、農業委員会が進めている利用権設定はされていないかという事ですか。

【経済課長】そういう事です。

【大久保】重点地区において、利用状況の調査は行っているか伺います。



【経済課長】2名の推進員と、肝属地区担当の地域振興公社職員1名で、説明会等を開催しています。また、農業委員も、担当地区ごとに集積可能な土地、集積の方法を検討しているところです。

【大久保】農家の高齢化が進む中、この、地域集積協力金を利用して、農機具や、鳥獣被害防止柵等の購入に充てる事等を推進すべきだ

と考えます。農業委員会では、その様な取組を実施しているか伺います。

【経済課長】地域集積協力金が取組み易い事業ですので、重点的に実施しています。



機構への貸付割合	10 aあたり		
	平成 26・27 年度 (基本単価の2倍)	平成 28・29 年度 (基本単価の1.5倍)	平成 30 年度 (基本単価)
2割超 5割以下	2.0万円	1.5万円	1.0万円
5割超 8割以下	2.8万円	2.1万円	1.4万円
8割超～	3.6万円	2.7万円	1.8万円

【大久保】借り受け希望者の公募状況を伺います。

【町長】平成26年と27年で約10 haが集積される計画ですが、農地中間管理事業を利用して農地を借り受けたという応募は、ない状況です。

【大久保】公募の広報はどの様に行っているか伺います。

【経済課長】担い手を育てていく必要があると考えます。

【大久保】貸し主はたくさんいると思います。経済課が待っていても中間管理事業は進みません。手段を考え、地区外からも借り主を探すべきだと思うが、どの様に考えるか伺います。

【経済課長】借主を探すほどの貸主がいなのが、現在の状況です。

【大久保】私の見解とは、少し違うように思われま



す。貸主がいらないのは、モデル地区や重要地区に多く見られるのか伺います。

【経済課長】今のところ、土地の所有者に貸す意思があるか、否かの調査が進んでいます。今後、取組んでいきたいと考えます。

【大久保】今後、この事業はどの様に推進される考えか伺います。

【町長】農地中間管理機構の事業推進員と町の推進員と「人・農地プラン」の話を併せて、農用地の集積と集約化を進める考えです。

【大久保】所有者が管理している土地、利用権設定をしている土地、利用権設定をせずに耕作されている土地、未相続の農地など調査をしているから、説明会を開催しているか伺います。

【経済課長】7月から調査を進めています。

【大久保】調査を行って、説明会を行わないと、話は進まないと思うが、どの様に考えるか伺います。

【経済課長】その通りだと考えます。人・農地プランの話し合いでも経営体の方々に農地の集積を進めて行きたいと思えます。

【大久保】農地の集積を推進していく為には、「人・農地プラン」が重要になってきます。そこで、「人・農地プラン」の見直しは今年度何カ所計画しているか伺います。

【経済課長】町内11か所で、プランを作成しています。平成26年度は1件の見直しを行いました。農地の集積を進めるためには、「人・農地プラン」が基本になると考えます。10月頃からは、各地区において、説明会を開催していきます。

### 具体的にはどんなことをするの？



【大久保】県内の事業推進地区に研修をされる考えはないか伺います。

【町長】地域に合った事例等必要な研修については、積極的な支援を行って参ります。

【大久保】平成26年度この事業に取り組んだ、いちき串木野市、さつま町、西之表市などを見聞する事により、その地域の反省や課題

をわが町での取り組みに反映させるべきだと思いが、どの様に考えるか伺います。

【経済課長】地域の経営体や担い手などに必要があれば、事務局も含め研修したいと思えます。

【大久保】この事業については、当初、事業計画はされていたが、予算化はされていません。

研修など予算がなくても実施できるのか伺います。

【経済課長】本事業の推進員の経費や需用費等に対応したいと思えます。

【大久保】事業を円滑に推進するために、担当課に事業推進員を置く考えはなにか伺います。

【町長】集積・集約化が急速に進み、事務量の増大が見込まれる場合には、設置を検討したい。

【大久保】この事業の事務処理には、登記簿謄本や印鑑証明等も必要になり、名義変更等も必要となるケースも出てきます、信頼のおける専属の嘱託職員を置くべきだと考えます。平成27年度の施政方針の中で町長は「農業は、担い手の育成と農地の集積・集約化を図り、将来性のある経営環境づくりを進めるために、農地中間管理機構の事業活用と、「人・農地プラン」の充実、農業振興・ビジョンの策定を進めます。」と言われています。私は、この事業は、本町の農業振興のためには是非とも推進していかねければならない事業だと考えます。町長の考えを伺います。

【町長】今後、この事業を推進していく中で、その仕組みが機能するような状況になれば、事業推進員を置き、本事業を推進していきたいと考えます。

# 郡60周年記念議員大会



10月23日、肝属郡町村議会議長会創立60周年記念議員大会が肝付町で開催されました。

創立当初は9町村の構成でしたが現在は4町となり、議員数も大幅に減少しています。

大会は、大村会長の「先輩方の想いを引き継ぎ、常に新たな発想を加え、住民福祉の向上に専念する」あいさつの式辞に始まり、功労者表彰、来賓祝辞、大会決議、記念講演などが行われました。

本町では、本会の発展にご尽力いただきました平瀬戸茂氏（根占山本）が功労者表彰を受けられました。

【佐多岬展望台 イメージ図】



## 佐多岬公園整備 いよいよ着工！

《平成30年夏 完全リニューアル》

### あとがき

二十四節季では、小雪から大雪へと、冬の訪れを感じる季節になりました。今年は暖冬なのか、未だに暖かい日が続いています。四季のある国に生まれた私たちは、ふとした瞬間に、新しい季節の訪れを感じ、また、それを楽しんできました。やはり、冬は寒い方が、冬を楽しめる気がします。

今号は、八・九・十一月の定例会を中心に編集しました。議会にとつては、内容の濃い四か月でしたが、その内容すべてを誌面だけでお伝えする事は難しく、できる限り、簡潔明瞭な編集を心がけております。今後とも、読みやすく、充実した誌面づくりに努めて行きたいと思えます。是非とも、読まれた感想などを、お寄せ下さい。

水谷 俊一

### 【お知らせ】

12月会議は、佐多支所議会議場で開催されます。一般質問等、「議会だより」では見えない議会が、ご覧になれます。詳しくは、議会事務局までお問合せ下さい。



### 【発行責任者】

議長 大村 明雄

### 【広報編集委員会】

委員長 水谷 俊一

副委員長 川原 拓郎

委員 浪瀬 敦郎

委員 持留 秋男

委員 大久保 孝司

委員 井之上 一弘

## 議会を傍聴してみませんか！